

# Bike

2005 ITU International Triathlon, Makuhari  
2005 NTT Triathlon Japan Cup, 2nd Stage

## B.2006年からのJTUの施策

---

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
3. PROJECT1 日本代表チームについて
  - 3-1.プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2.第1次日本代表チーム
4. PROJECT2 大会について
  - 4-1.大会の在り方
  - 4-2.2006年大会内容
  - 4-3.開催概要
  - 4-4.ポイントランキング
5. PROJECT3 メディア活動について
  - 5-1.プロジェクトの概要
  - 5-2.展開スケジュール

## B.

2006年からのJTUの施策

### INDEX

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

# 1

## 2006年からの 社団法人日本トライアスロン連合の活動の方向性

北京オリンピックでメダルを獲得するために必要な体制へ。

2006年から、社団法人日本トライアスロン連合は、「強化」と「普及」を主軸に、日本代表ナショナルチームを中心とするメダル獲得体制にシフトします。



### 「強化」と「普及」

この2つの車輪をもって、オリンピックメダル獲得の道を歩み、  
北京オリンピックでメダルを掴みます。

## B.

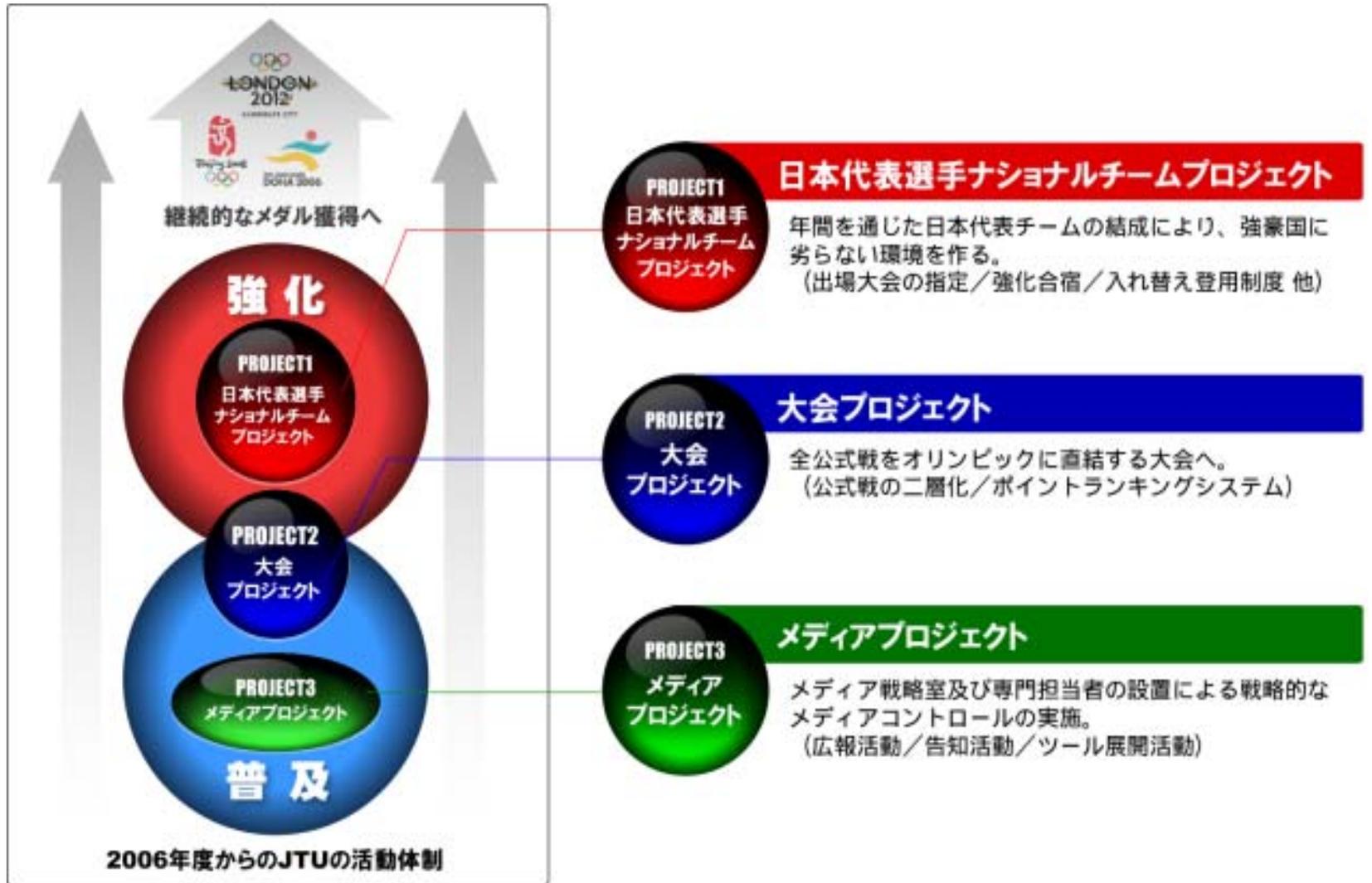
2006年からのJTUの施策

### INDEX

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

# 2

## 2006年度からの社団法人日本トライアスロン連合の活動体制と実行プロジェクトについて



## B.

2006年からのJTUの施策

### INDEX

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

# 3-1

## PROJECT1 - 日本代表選手ナショナルチームプロジェクトについて 「プロジェクトの概要と選考基準」

北京オリンピックに向けて日本代表選手ナショナルチームを特別編成し、年間を通じた活動により、強豪国に負けない環境を作り、アジア大会、北京でのメダル獲得に挑みます。



### プロジェクト実施項目



1. 年間約100～150日の拘束
2. 出場大会(国内外)の指定
3. 強化合宿の実施(年3～5回) 候補(ジュニア含む)
4. トレーニングセンターの設置およびプログラムの実施
5. 1軍・2軍入れ替え登用制度の導入(選手・コーチ)

### 選考基準

日本代表選手ナショナルチームは、エリート(男子1～6名、女子1～6名)、ホープ(男子0～2名、女子0～2名)で構成し、最大男子6名、女子6名を認定。

1. 強化本部が北京オリンピックの候補選手として推薦したメダル獲得が可能な選手をエリート選手として認定
2. 強化本部が北京オリンピックの候補選手として推薦した将来特に有望であると認めた23歳以下の選手をホープとして認定

## B.

2006年からのJTUの施策

### INDEX

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト

### 3. PROJECT1 日本代表チームについて

- 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について

#### 3-2. 第1次日本代表チーム

4. PROJECT2  
大会について

- 4-1. 大会の在り方
- 4-2. 2006年大会内容
- 4-3. 開催概要
- 4-4. ポイントランキング

5. PROJECT3  
メディア活動について

- 5-1. プロジェクトの概要
- 5-2. 展開スケジュール

# 3-2

## PROJECT1 - 日本代表選手ナショナルチームプロジェクトについて 「第1次日本代表選手ナショナルチーム」

2006年1月～6月の期間、以下の日本代表選手でナショナルチームを結成します。



山本 淳一 (やまもと しゅんいち)  
所属: K's-Y・稲毛ITC



平野 司 (ひらの つかさ)  
所属: 関西大学



田山 寛豪 (たやま ひろかつ)  
所属: チームテイケイ



細田 雄一 (ほそだ ゆういち)  
所属: グリーンタワー・稲毛ITC



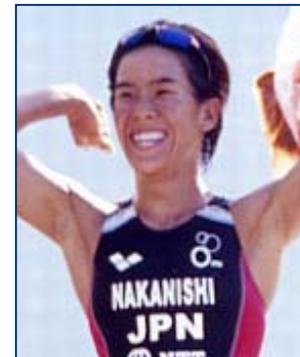
庭田 清美 (にわた きよみ)  
所属: アシックス・ザバス



上田 藍 (うだ あい)  
所属: グリーンタワー・稲毛ITC



関根 明子 (せきね あきこ)  
所属: NTT東日本・NTT西日本



中西 真知子 (なかにしまちこ)  
所属: NTT東日本・NTT西日本



忽那 静香 (くつな しずか)  
所属: 日東紅茶TEAM KEN'S A&A

(選考基準) 世界選手権総合3位以内 世界選手権総合8位以内 世界選手権総合16位以内 - 庭田清美 世界選手権総合24位以内 - 上田藍 世界選手権トップタイムから男子2.5%、女子4%以内でフィニッシュ - 山本淳一 ワールドカップ総合3位以内 - 関根明子 ワールドカップ総合8位以内 - 中西真知子 ワールドカップトップタイムから男子2.5%、女子4%以内でフィニッシュ - 忽那静香、平野司、田山寛豪 アジア選手権総合優勝 日本選手権優勝 強化本部推薦(上記大会で総合的な成績を考慮) - 細田雄一

## B.

2006年からのJTUの施策

### INDEX

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

## 4-1

# PROJECT2 - 大会プロジェクトについて 「2006年度からの大会の在り方」

アジア大会、北京五輪でのメダル獲得を目指し、  
日本代表選手ナショナルチーム全体のレベル向上に繋がる大会を開催していきます。

2006年からの大会イメージ



全ての公式大会をオリンピックに直結する大会へ。  
「強化」と「普及」を同等のバランスに。

2006年からはJTU公式大会を二層化構造へ

「TOP of Tops大会」と「Top大会」の開催

## B.

2006年からのJTUの施策

### INDEX

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

## 4-2

# PROJECT2 - 大会プロジェクトについて 「2006年度からの大会内容」

2006年からはJTU公式大会を二層化構造へ。  
「TOP of Tops大会」と「Top大会」を年間合計10戦開催。



## B.

2006年からのJTUの施策

### 4-3

## PROJECT2 - 大会プロジェクトについて 「2006年度大会開催概要」

### INDEX

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

カテゴリー	日程	大会名称	開催地	大会情報
Top of Tops 大会	4月16日(日) (予定)	2006ITUトライアスロンワールドカップ石垣島大会 2006石垣島トライアスロン大会	沖縄県石垣市	新生日本代表チームのお披露目大会でもあり、多くの観客・メディアによる盛り上がり恒例の大会である。05年は、女子の庭田選手2位、関根選手3位と、日本人選手同士の熾烈な争いも期待される。
	10月22日(日) (予定)	第12回日本トライアスロン選手権東京港大会	東京都臨海副都心	国内最高峰の大会として位置付けされている。毎年観客数が増加し、05年は遂に10万人の観客数を記録。名実ともに日本一を決める大会として、多くのトップレベルの選手がしのぎを削る。
Top大会	6月18日(日) (予定)	2006日本スプリント・トライアスロン選手権幕張大会	千葉県幕張新都心	フラットなコース設定により、公式大会中でも指折りのスピードレースを展開。スポーツ王国「千葉」におけるトライアスロンの名を高めるべく、05年からは「EKIDEN大会」による一般ファン層の参加も増加している。
	6月18日(日) (予定)	日本海トライアスロンおしんレース	山形県酒田市	日本選手権大会への出場権を賭けた東北地区での有力レースの一つ。エリート・エイジ・リレーの3部門から構成され、出場者数も200名以上にのぼる。
	7月16日(日) (予定)	2006小名浜スーパーズプリント・トライアスロン大会	福島県いわき市	東北の最南端に位置するいわき市で、約60kmにおよぶ風光明媚な海岸線を利用したコースは、出場者からの人気も高い。05年に第1回大会として開催し、約200名近くのアスリートが参加。
	9月10日(日) (予定)	2006ITUトライアスロンコンチネンタルカップ 第22回天草国際トライアスロン大会 第7回日本男子エイジグループ選手権	熊本県本渡市	過去にジャパンカップ大会にも指定された、日本全国でも有数の大会の一つ。地域性もあり、有力エリート選手の出場率が高い大会で、地元の人気も高い。
	10月1日(日) (予定)	2006村上・笹川流れ国際トライアスロン大会	新潟県村上市	地域色が強く、地元ボランティアが積極的に参加する大会である。スタートとフィニッシュ位置が異なる特色あるコース設定であるが、沿道には常に住民の声援が飛び交っている。エリート・エイジ各選手からの人気も高い。
	10月1日(日) (予定)	2006ITUトライアスロンコンチネンタルカップ蒲郡大会	愛知県蒲郡市	2005年9月にアジア初日本初の世界選手権を開催した地。国内ワールドカップ開催地の定番でもあり、国際的に評価が高い。
	10月9日(月) (予定)	2006日本スーパーズプリント・トライアスロン選手権 銚子大会	千葉県銚子市	銚子北港を中心に、エリート部門はスーパーズプリントレースを展開。3種目を3セットで構成されるレースは観客から好評を得ている。

## B.

2006年からのJTUの施策

### INDEX

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

## 4-4

# PROJECT2 - 大会プロジェクトについて 「ランキングシステムについて(案)」

### ポイント付与大会(案)



### 公式大会の二層化構造

#### Top of Tops大会の明確な位置付け

Top of Tops大会(石垣島・東京港)の格付けを明確にするために、大会レベルに応じたカテゴリー分けを設定し、付与するポイントに格差を付ける。

#### 強化に主眼を置いた大会構成

国内最高峰レベルの大会に加え、選手強化に繋がる大会(スプリント～51.5km)を設定することにより、北京オリンピックのメダルを目指す。

### ポイントランキング(案)

#### ポイントテーブル

トップオブトップ大会である、ITUトライアスロンワールドカップ石垣島大会・第12回日本トライアスロン選手権東京港大会が最上位にカテゴライズされ、この2大会に1.2倍のベースポイントが設定される。

(ベースポイント) × (QF係数保持選手の係数の合計 + 1)  
= 獲得ポイント (小数点以下四捨五入)

#### ベースポイント(QF係数)

1位: 0.06   2位: 0.05   3位: 0.04

4位: 0.03   5位: 0.02

各大会最大20%がベースポイントに乗じて加算される。

#### カウントされる大会数

最大3大会までの獲得ポイントを合計し、でジャパンカップポイントが加算される。

#### カットオフルール

男子はトップのフィニッシュタイムから5%以内、女子は8%以内でフィニッシュした選手にポイントが加算される。

#### 年間トップ表彰

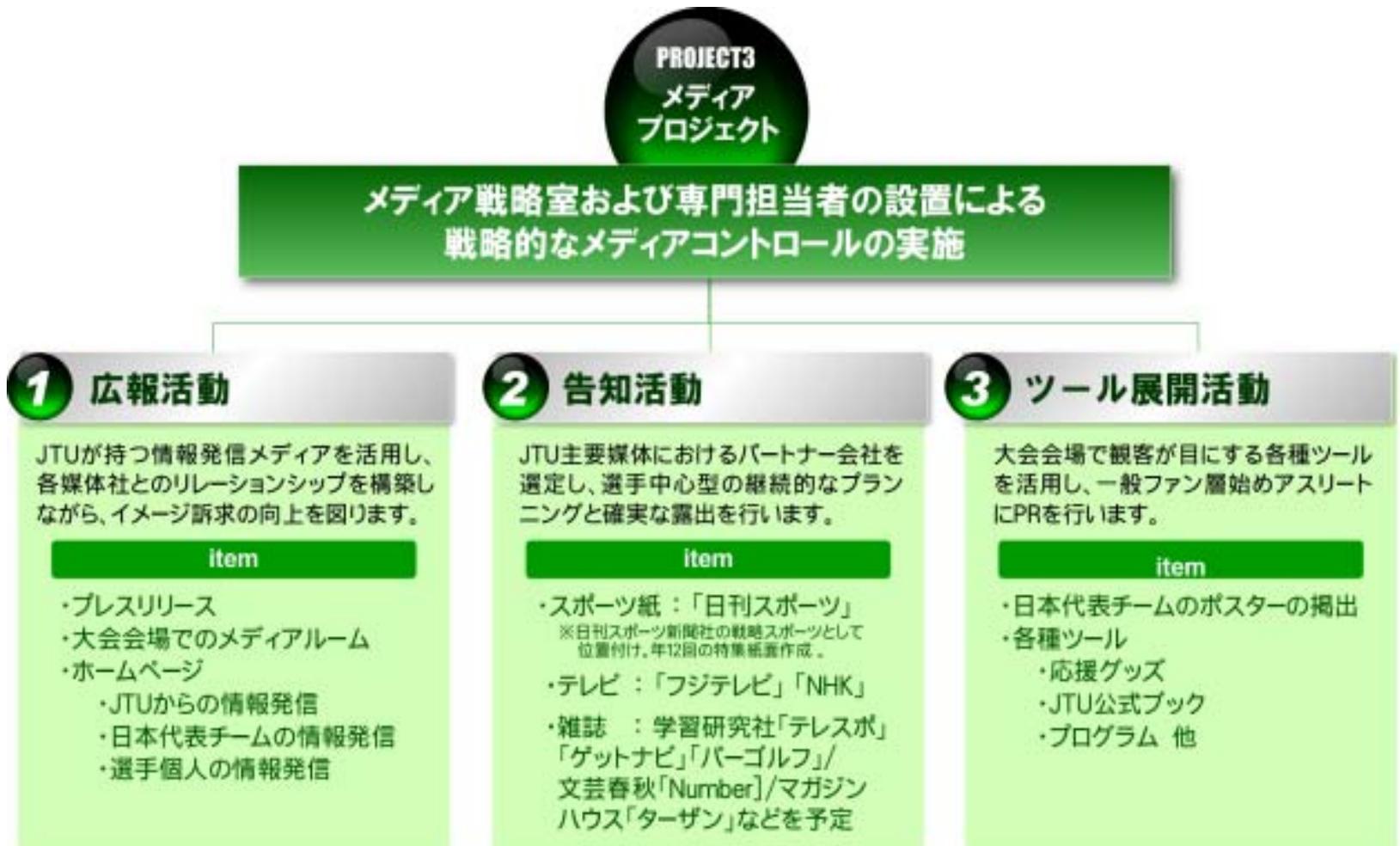
ジャパンカップランキング上位入賞者にはJTUから強化賞が支給。

日本選手権終了時のJTUジャパンランキングトップ選手には、2007年アジア選手権出場資格を付与。

## INDEX

1. 2006年からのJTUの活動の方向性
2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

日本代表選手ナショナルチームを中心に、年間を通し継続的な露出プログラムを構築します。



# B.

2006年からのJTUの施策

## INDEX

- 1. 2006年からのJTUの活動の方向性
- 2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
- 3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
- 4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
- 5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

# 5-2

## PROJECT3 - メディアプロジェクトについて 「メディアプロジェクト展開スケジュール(予定)」

月	日	大会名・事業名	開催場所	広報活動	TV地上波	TV衛星波	スポーツ紙	雑誌	ツール
1月	中	代表チームスケジュール発表							HPでの開催告知 / 取材案内
2月	01	代表チーム合同強化合宿	グアム	記者発表					HPでの開催告知 / 取材案内
	14				フジテレビ 開幕直前情報		日刊スポーツ 「日本ナショナル チーム始動」		
	下	代表チーム個別強化合宿	未定						HPでの開催告知 / 取材案内
3月	00	代表チームJISS測定合宿	東京						JTUマガジン 発行
	15						日刊スポーツ 「石垣大会展望」	「日本チーム始動」	
4月		代表チーム合同強化合宿		記者発表			日刊スポーツ 「大会展望」		HPでの開催告知 / 取材案内
	16	ITUトライアスロンワールドカップ石垣島大会/2006石垣島トライアスロン大会	沖縄県 石垣市		沖縄テレビ 大会模様	NHK-BS 大会模様			ポスター チラシ 随時配布
					フジテレビ レース結果		日刊スポーツ 「石垣大会総括」		開幕情報 掲載
5月								「石垣結果」	レース結果 掲載
6月							日刊スポーツ 「女子有力選手 紹介」		
	18	2006日本スプリント・トライアスロン選手権幕張大会	千葉幕張 新都心						
	17	東北ブロック選手権 日本海トライアスロンおしんレース	山形県 酒田市						
							日刊スポーツ 「大会結果」 「男子有力選手 紹介」		

# B.

2006年からのJTUの施策

## 5-2

### PROJECT3 - メディアプロジェクトについて 「メディアプロジェクト展開スケジュール(予定)」

#### INDEX

- 1. 2006年からのJTUの活動の方向性
- 2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
- 3. PROJECT1 日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
- 4. PROJECT2 大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング

#### 5. PROJECT3 メディア活動について

- 5-1. プロジェクトの概要
- 5-2. 展開スケジュール

月	日	大会名・事業名	開催場所	広報活動	TV地上波	TV衛星波	スポーツ紙	雑誌	ツール
7月	02	七ヶ浜国際トライアスロン選手権(仮称)	宮城県 七ヶ浜町				日刊スポーツ 「レース結果」		ポスター チラシ 随時配布
	17	太平洋トライアスロンinいわき スーパースプリント小名浜	福島県 いわき市				日刊スポーツ 「レース結果」		HPでの開 催告知/ 取材案内
	下	代表チーム個別強化合宿	未定	記者発表			日刊スポーツ 「アジア戦 展望」		
	00	ASTCアジアトライアスロン選手権	中国		フジテレビ「レー ス結果」			「アジア戦結果」	HPでの開 催告知/ 取材案内 開幕情報 レース結果
8月	16	代表チーム合同強化合宿	スイス・ ローザンヌ	記者発表			日刊スポーツ 「日本NT後半 戦スタート」		
	03	ITUトライアスロン世界選手権	スイス・ ローザンヌ			NHK-BS 大会模様			
9月	10	2006ITUインターナショナルイベント/第 22回天草国際トライアスロン大会/第7回 日本男子エイジグループ選手権	福島県 いわき市	記者発表	フジテレビ「レー ス結果		日刊スポーツ 「世界選総括」		
	24	ITUトライアスロンW杯・北京大会	中国北京			NHK-BS 大会模様	日刊スポーツ 「レース結果」		
							日刊スポーツ 「レース結果」		

# B.

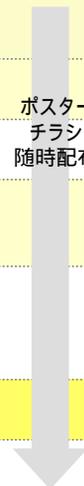
2006年からのJTUの施策

## 5-2

### PROJECT3 - メディアプロジェクトについて 「メディアプロジェクト展開スケジュール(予定)」

#### INDEX

- 1. 2006年からのJTUの活動の方向性
- 2. 2006年からの活動体制と実行プロジェクト
- 3. PROJECT1  
日本代表チームについて
  - 3-1. プロジェクトの概要と選考基準について
  - 3-2. 第1次日本代表チーム
- 4. PROJECT2  
大会について
  - 4-1. 大会の在り方
  - 4-2. 2006年大会内容
  - 4-3. 開催概要
  - 4-4. ポイントランキング
- 5. PROJECT3  
メディア活動について
  - 5-1. プロジェクトの概要
  - 5-2. 展開スケジュール

月	日	大会名・事業名	開催場所	広報活動	TV地上波	TV衛星波	スポーツ紙	雑誌	ツール
10月	01	2006ITUトライアスロンワールドカップ蒲郡大会	愛知県蒲郡市						
	01	2006村上・笹川流れ国際トライアスロン大会	新潟県村上市				日刊スポーツ「レース結果」		
	09	2006日本スーパープリントトライアスロン選手権銚子大会/銚子マリーナ国際トライアスロン大会	千葉県銚子市				日刊スポーツ「レース結果」 日刊スポーツ「レース展望」	「世界選結果」 東京港展望」	
	22	第12回日本選手権東京港大会	東京都臨海副都心	記者発表	フジテレビ「大会模様」				
					フジテレビ「レース結果」		日刊スポーツ「東京港結果」		
11月	00	代表チームJISS測定合宿	東京						
	00	代表チームアジア大会向け強化合宿	未定					「東京港結果」 「アジア大会展望」	
				記者発表			日刊スポーツ「アジア展望」	Number「アジア大会展望」	HPでの開幕告知 / 取材案内
12月	03	アジア大会	カタール・ドーハ	記者発表	フジテレビ「大会模様」	NHK BS-1「大会模様」			HP開幕情報
					フジテレビ「レース結果」 「年間総括」		日刊スポーツ「レース結果」 「年間総括」	「大会結果」 「年間総括」	レース結果